



本事業は、SDGsの「17 パートナリツプで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024年8月23日（金）

愛知県政策企画局国際課

国際戦略グループ

担当 木俣、中村

内線 2256、2448

ダイヤル 052-954-6130

愛知県経済産業局産業立地通商課

国際業務企画グループ

担当 篠田、鈴木

内線 5296、5298

ダイヤル 052-954-6356

愛知県都市・交通局航空空港課

利用促進グループ

担当 大久保、大嶋

内線 2271、2621

ダイヤル 052-954-6133

知事の東南アジア渡航中の行事結果について

2024年8月22日（木）午前、知事はタイ王国・バンコク都において、ピムパッタラー・ウィチャイクン タイ工業大臣、スリヤ・ジュンルンルアンキット タイ副首相兼運輸大臣、サノン・ワンサンブーン バンコク都副知事と面談しました。

また、午後には、エアポートセールスのため、リアリークールエアラインズのパティ・サラシン CEO と面談しました。

1 タイ工業大臣との面談（担当課：産業立地通商課）

（1）日時

2024年8月22日（木）午前9時5分から午前9時35分まで

（日本時間8月22日（木）午前11時5分から午前11時35分まで）

（2）場所

タイ工業省（バンコク都）

（3）面談者

ピムパッタラー・ウィチャイクン タイ工業大臣

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

一般社団法人 中部経済連合会 みやもとふみたけ 宮本文武常務理事

ジェトロ名古屋 ひらのしゅういち 平野修一 所長

おおたかまさと 大鷹正人駐タイ日本国大使

（5）内容

大村知事は、タイ工業省を訪問し、ピムパッタラー工業大臣と面談しました。

初めに、ピムパッタラー工業大臣から、「愛知県には、トヨタ自動車を始め大手自動車関連企業が本社を構え、最先端の技術を持つロボットや航空機産業が盛んであり、JAXAの拠点も設置されているなど、技術面で大変優れた県であると聞いている。

また、工業省と愛知県が、経済面で良い協力関係を築けたことに対し大村知事に感謝している。両地域の企業が色々と協力した成果が出来上がっている。今後もこの経済面のパートナーシップを継続するようお願いしたい。」との発言がありました。

これに対し大村知事は、「知事になってからタイへの訪問は今回で4回目となる。愛知県とバンコク都とは『相互協力に関する覚書』を締結している。その上で、2014年に私が工業省を訪問し愛知県と工業省との間で『経済連携に関する覚書』を締結させていただいた。それ以降、様々な分野で着実に交流を重ねている。愛知県企業はタイに約500社が進出し活発に事業を行っており、トヨタ自動車及びグループ企業始めサプライヤーもタイを一大拠点にしている。トヨタ自動車始め愛知県企業によるタイへの投資額は、日本企業全体の40%を超えている。愛知県とタイの間には大変深い繋がりがある。この関係を更に強くしていきたい。」と発言しました。

そして、「今年10月にスタートアップ支援拠点『STATION Ai』をオープンする。イノベーションを更に起こしていくために、スタートアップ関係においてもタイ工業省と連携していきたい。また、2025年6月に愛知県で開催される、国際的な産業展『AXIA EXPO 2025』において、アジア諸国の企業や、愛知県の連携先などに出展いただくための『アジアパビリオン』というブースを設置する予定であり、タイの企業や政府機関にも出展を御検討いただきたい。」と要請しました。

これに対してピムパッター工業大臣は、『STATION Ai』の設立をお祝い申し上げる。タイのスタートアップも是非参加させていただきたい。『AXIA EXPO 2025』への出展に関しては、関係部署に検討するよう指示する。工業省としては愛知県との連携強化によって、イノベーションの創出や技術移転、人材育成を通じ、両地域が発展することを願っている。」と発言しました。

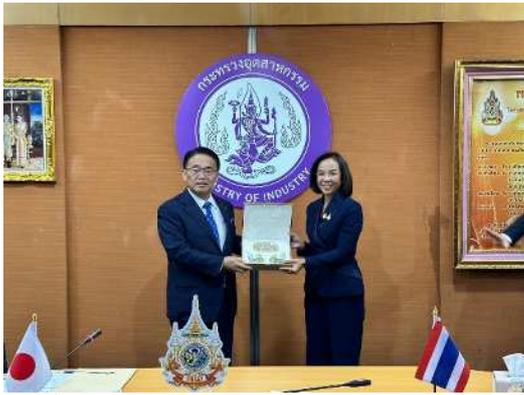
大村知事からは、「大臣のお言葉に感謝する。タイトヨタの技術センターに勤務するスタッフの教育レベルは日本と全く同じであると聞くため、こうした人材育成の面においても、タイ工業省のサポートをお願いしたい。」と述べました。



面談の様子



大村知事からピムパッター工業大臣
へ記念品を贈呈



ピムパッター工業大臣から
大村知事へ記念品を贈呈



参加者との記念撮影

2 タイ副首相兼運輸大臣との面談（担当：国際課）

(1) 日時

2024年8月22日（木）午前10時30分から午前11時05分まで
（日本時間8月22日（木）午後0時30分から午後1時05分まで）

(2) 場所

タイ運輸省（バンコク都）

(3) 面談者

スリヤ・ジュンルンルアンキット タイ副首相兼運輸大臣

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

ジェトロ名古屋 平野修一所長

大鷹正人駐タイ日本国大使

(5) 内容

大村知事は、タイ運輸省を訪問し、スリヤ副首相兼運輸大臣と面談しました。

まず、スリヤ副首相兼運輸大臣から、「日本とタイは、正式な外交関係が始まってから137年間、良好な関係を続けてきた。経済的には約400年前から関係が続いている。日本はタイ人にとって最も人気のある観光の目的地であり、去年は100万人以上のタイ人が日本を旅行している。訪問先として多いのは東京や大阪、京都、北海道だが、長年、国会議員を務め、知事として4期目に入った大村知事のおかげで、より多くのタイ人が愛知県を訪れるようになることを確信している。」との発言がありました。

これに対して大村知事は、「今回、知事として4回目のタイ訪問になるが、スリヤ副首相兼運輸大臣にお会いすることができて、大変光栄である。愛知県は日本最大の産業地帯、工業地帯であり、トヨタ自動車を始めとした自動車産業のほか、航空宇宙産業、ロボティクスなど日本一の産業集積地である。愛知県企業はタイに約500社が進出し、活発に事業を行っている。トヨタ自動車始め愛知県企業によるタイへの投資額は、日本の企業全体の40%を超えている。」と発言しました。

さらに大村知事は、愛知県とタイとの関係について、「愛知県は10年前の2014年に

タイ工業省と『経済連携に関する覚書』を締結した。副首相はタイ工業大臣を2回お務めであるが、愛知県はタイ工業省と親しく連携している。また、愛知県はバンコク都とも『相互協力に関する覚書』を締結しており、名古屋港もタイ港湾公社と提携関係にある。」と説明した上で、「本日午後は、昨年設立されたリアリークールエアラインズを訪問し、中部国際空港への新規就航をお願いする。タイと中部国際空港との直行便を増やすことで、愛知県とタイの交流を更に増やし、経済の関係を強くしたいと考えている。大臣を始めタイ運輸省のサポートをお願いしたい。」と発言しました。

これに対してスリヤ副首相兼運輸大臣から、「タイ政府としては、世界経済が良くない時でも収入を得ることができる観光政策の優先順位を高めている。タイの空港をこの地域のハブにすることを方針としており、観光や空港のハブになることができれば、様々なビジネスチャンスも生まれる。大村知事が言われたように、航空便路線の拡大は非常に重要なことであり、大いに賛成である。全力でサポートしたい。」と応じました。

さらにスリヤ副首相兼運輸大臣から、「愛知県はタイ工業省やバンコク都等と様々な覚書を締結していると伺ったが、タイ運輸省も愛知県と協力できる分野があれば、是非提携・協定を結びたい。これからワーキンググループを設置して、協力できる分野について協議を進めていきたい。」と提案がなされました。

これに対して大村知事は、「副首相より大変有意義な御提案をいただいた。ワーキンググループを立ち上げて、一緒に検討協議をさせていただきたい。協議のテーマとしては、トヨタ自動車を始めとしたモビリティの関係で協議させていただくとともに、自動運転の分野でも協力することができると考えている。既に、トヨタ自動車はタイのチャロン・ポカパングループと共同で、水素エンジン自動車を開発するなど事業を進めようとしており、大変楽しみにしている。」と発言しました。

加えて、大村知事は、「観光の分野でも連携が可能である。愛知県では2年前にスタジオジブリ作品の世界観を再現したジブリパークが開園し、多くの方にお越しいただき大変賑わっている。また、2025年6月に愛知県で開催される、国際的な産業展『AXIA EXPO 2025』において、アジア諸国の企業や、県の連携先などに出展いただくために『アジアパビリオン』というブースを設置する予定であり、タイ運輸省始めタイの企業にも御参加いただきたい。」と要請しました。

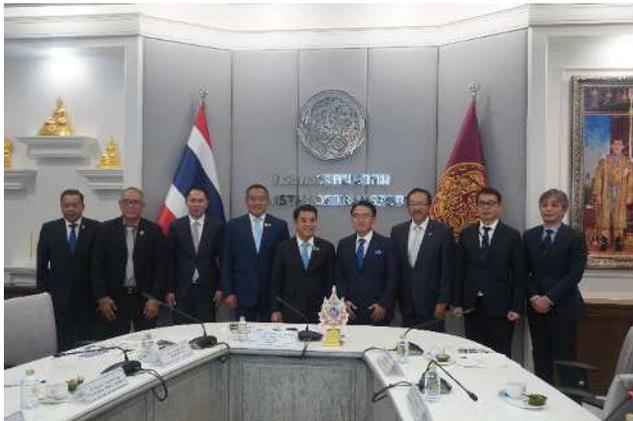
最後に大村知事から、スリヤ副首相兼運輸大臣から提案のあったタイ運輸省との提携について、「今後ワーキンググループを立ち上げて相談させていただきたい。その上で、ぜひ愛知県とタイ運輸省とでMOUを締結したい。」と発言し、今後の連携に向けて協力していくことを確認しました。



スリヤ副首相兼運輸大臣
との面談の様子



スリヤ副首相兼運輸大臣
との記念撮影



面談出席者との記念撮影

3 バンコク都副知事との面談（担当：国際課）

(1) 日時

2024年8月22日（木）午前11時20分から午前11時55分まで
（日本時間8月22日（木）午後1時20分から午後1時55分まで）

(2) 場所

バンコク都庁（バンコク都）

(3) 面談者

サノン・ワンサンブーン バンコク都副知事

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

ジェトロ名古屋 平野修一所長

(5) 内容

大村知事は、バンコク都庁を訪問し、サノン バンコク都副知事と面談しました。

大村知事は、「愛知県とバンコク都は、2012年に私がバンコク都を訪問し、『相互協力に関する覚書』を締結した。今回の私のバンコク都訪問は、2018年8月以来4回目となり、覚書を締結してから多くの交流が進んでいる。特に高校生訪問団の相互派遣が活発に行われており、バンコク都からは7回愛知県にお越しいただいた。愛知県からはこれまでに5回の生徒をバンコク都に派遣しており、来年3月に6回目のバンコ

ク都訪問を予定している。」と発言するとともに、高校生交流をきっかけに県立津島高校とバンコク都のマッタヨム・ワットスッタラーム高校及びウィチュティット校との間で結んだ姉妹提携、2019年3月に包括協定に関する覚書を機に実施している愛知県立大学とナワミンタラティラート大学との交流の実施、さらにはタイに進出している愛知県企業により構成される「愛知会」のバンコク都の学生に対する奨学金についてなど、これまで着実に交流を重ねてきたことを紹介しました。

これに対してサノン副知事から、「バンコク都に住む人々の生活のクオリティを向上させることが重要であると考えている。そのためには若者に学習の機会を与え、人材育成に力を入れることが必要で、高校生交流のような教室外での学習の機会や教育現場へのデジタル技術の導入などを進めていきたい。今後も教育の分野で意見交換を続けていきたい。」と発言がありました。

続けて大村知事は、「愛知県企業はタイに約 500 社が進出し活発に事業を行っており、そのうち約 40%がバンコクに拠点を構えている。トヨタ自動車始め愛知県企業によるタイへの投資額は、日本企業全体の 40%を超えている。そして、2014年には愛知県とタイ工業省が『経済連携に関する覚書』を締結し、経済交流も盛んに行ってきた。これからも活発に経済分野での交流を続けていきたい。」と発言しました。

また、大村知事は、「2025年6月に愛知県で開催される、国際的な産業展『AXIA EXPO 2025』において、アジア諸国の企業や、愛知県の連携先などに出展いただくために『アジアパビリオン』というブースを設置する予定であり、バンコク都にも出展を御検討いただきたい。」と要請したところ、サノン副知事からは、「素晴らしい提案である。前向きに検討したい。」と賛意が示されました。

さらに大村知事は、ジブリパークをPRし来県を呼びかけるとともに、副知事と今後も愛知とバンコク都との交流を更に深め、両地域の発展のために協力していくことを確認しました。



サノン副知事との面談の様子



サノン副知事との記念撮影



面談出席者との記念撮影

4 リアリークールエアラインズへのエアポートセールス（担当：航空空港課）

(1) 日時

2024年8月22日（木）午後3時20分から午後3時55分まで

（日本時間8月22日（木）午後5時20分から午後5時55分まで）

(2) 場所

リアリークールエアラインズ本社（バンコク都）

(3) 面談者

パティ・サラシン CEO

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

ジェトロ名古屋 平野修一所長

中部国際空港株式会社 犬塚力代表取締役社長

(5) 内容

大村知事は、リアリークールエアラインズ本社を訪問し、パティ CEO と面談しました。

リアリークールエアラインズは、2023年にバンコクを本拠地に設立された航空会社であり、最初の就航先として日本路線（中部・成田・関西・新千歳）を目指しています。

大村知事からは、「コロナ禍前に比べ、愛知県とタイを結ぶ路線は3分の1に留まっているが、愛知県からタイへは、約500社もの多くの企業が進出しており、また、コロナ禍明けからタイの来訪者も大幅に増加している。ビジネス・観光両面での往来需要を支えるには、航空ネットワークの充実が大変重要であるため、中部への新規就航を要請する。」と発言しました。同席した中部経済連合会、中部国際空港株式会社からも、企業活動等の観点から、路線の充実の必要性についての発言がありました。

これに対しパティ CEO は、「エアラインを通じて、タイと日本の関係を深めたいと考えており、最初の就航先は、日本路線は、成田・中部等を計画している。日本はタイ人にとって人気の観光地であり、特に今年は日本を訪れるタイ人が非常に多い。中部への就航を検討しており、就航が決まった際には、利用促進の支援をお願いしたい。」

と応じました。



面談の様子①



面談の様子②



大村知事からパティ CEO へ記念品を贈呈



集合写真

東南アジア渡航日程の概要（予定）

2024年8月18日（日）～8月27日（火）：8泊10日

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 発表予定 (日本時間)
8/18 (日)	8:20 9:30 11:15 17:05 18:50	中部国際空港発（JL3082） 成田国際空港着 成田国際空港発（JL725） スカルノハッタ国際空港着 前西ジャワ州知事との面談	ジャカルタ	8/19(月) 14:00頃
8/19 (月)	11:10 12:10 13:10 15:40 19:00	インドネシア国会副議長との面談 インドネシア外務副大臣との面談 インドネシア前副大統領との面談 インドネシア運輸大臣との面談 経済交流会（愛知県主催）	ジャカルタ	8/20(火) 14:00頃
8/20 (火)	11:40 14:25 15:50 17:00	スカルノハッタ国際空港発（GA832） チャンギ国際空港着 駐シンガポール日本国大使との面談 シンガポール第二貿易産業大臣兼人材開発大臣との面談	シンガポール	8/21(水) 14:00頃
8/21 (水)	10:25 12:40 15:55 17:15	シンガポール国立大学訪問 シンガポール副首相との面談 チャンギ国際空港発（TG414） スワンナプーム国際空港着	バンコク	8/22(木) 14:00頃
8/22 (木)	9:05 10:30 11:20 15:20	タイ工業大臣との面談 タイ副首相兼運輸大臣との面談 バンコク都副知事との面談 エアポートセールス（リアリークールエアラインズ）	バンコク	8/23(金) 14:00頃
8/23 (金)	11:20 13:10 14:30 17:30	スワンナプーム国際空港発（VN600） タンソンニャット国際空港着 エアポートセールス（ベトジェットエア） ホーチミン市人民評議会議長との面談	ホーチミン	8/24(土) 14:00頃
8/24 (土)		サイゴン大学等訪問	ホーチミン	8/25(日) 14:00頃

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 発表予定 (日本時間)
8/25 (日)	13:00 15:15	タンソンニャット国際空港発 (VN248) ノイバイ国際空港着	ハノイ	—
8/26 (月)	調整中	ベトナム首相との面談 ベトナム副首相兼司法大臣との面談 ベトナム計画投資大臣との面談 ベトナム交通運輸大臣との面談 ベトナム産業貿易副大臣との面談 エアポートセールス (ベトナム航空)	機中	8/27(火) 14:00 定例知事会見時
8/27 (火)	0:15 6:55	ノイバイ国際空港発 (VN346) 中部国際空港着	—	—

※日程については、調整中であり変更となる可能性があります。

※行事の予定時間は現地時間、行事結果の県政記者クラブへの配布予定時刻は日本時間です。

※現地時間は以下のとおりです。

- ・インドネシア、タイ、ベトナム 日本時間－2 時間
- ・シンガポール 日本時間－1 時間